

平塚市総合浸水対策基本計画(素案)に対する意見及び市の考え方

パブリックコメント実施の概要

- | | |
|---------------|---|
| (1) 意見の募集期間 | 平成 2 6 年 4 月 2 1 日 (月) ~ 平成 2 6 年 5 月 2 0 日 (火) |
| (2) 意見の提出方法 | 郵送・FAX・Eメールにより下水道整備課にて受付 |
| (3) 提出者数 | 7 (6 団体、 1 名) 意見数 1 6 件 |

「平塚市総合浸水対策基本計画（素案）」に対する意見及び市の考え

地区	素案の該当項目	番号	素案に対する意見	市の考え
全 計 画 区 域	4. 浸水対策手法	1	道路のアスファルト舗装をやめて、地面をそのままにした道路を作ってはどうか。	雨水を地下に浸透させることは、浸水対策の有効な手段と考えており、公助としては浸透ますの設置や透水性舗装を推進し、自助としては各戸の貯留・浸透施設の設置を促進します。
		2	マンホールの蓋が飛散すると危険なので、鋳鉄製ではなく強度のあるプラスチック製に変更してはどうか。	プラスチック製は強度が弱く、滑りやすい材質であるため、鋳鉄製の蓋を採用しています。また、飛散防止付の蓋への交換を進めています。
岡 崎	5. 重点対策地区 （短期・中期）	3	市道岡崎 24 号線では道路冠水が発生し、車両も人も通行できないほどの状況である。このため、岡崎の重点対策地区として追加認定し具体の対策を進めてほしい。	〔基本計画に反映〕 重点対策地区（短期）の岡崎地区に含め、浸水被害の軽減を図ります。
横 内	5. 重点対策地区 （短期・中期）	4	横内地区では、管渠の整備だけではなく、雨水貯留施設やポンプ施設の設置による浸水対策や早めの対策実施をお願いしたい。	まずは未整備区域の管渠の整備を進め、浸水被害の軽減を図ります。また、整備後の状況により更に管渠のネットワーク化等の対策も実施します。

地区	素案の該当項目	番号	素案に対する意見	市の考え
中原・東中原	4. 浸水対策手法		昨年秋の渋田川増水に伴う浸水被害に関し、地域住民の行政等に対する意見・要望	
		5	(1)河川の堆積土砂除去工事の早期実施と効果の確認をして欲しい。	渋田川の堆積した土砂の除去については、河川管理者である神奈川県へ要望し、平成 26 年度から浚渫を実施いたします。また、大雨時には、水位計により河川水位の状況を観測してまいります。
		6	(2)行政及び自治会、防災会の大雨時のパトロール強化と早めの情報伝達をお願いしたい。	自治会等と連携し、パトロール強化に努めます。また、ホームページや広報車等を活用した情報伝達に努めます。
	5. 重点対策地区 (短期・中期)	7	(3)緊急対応として浸水している箇所にポンプ車などで対応してもらいたい。	非常時には可搬式ポンプ等で対応いたします。
		8	(4)水門のゲート閉止は自治会、防災会で行うことは出来ないのか。	河川等の水門の閉止については、住宅地域が浸水する恐れがあるため、管理者が操作を行います。 河川水位の影響を受けやすい中原・東中原地区では、短期対策として水圧により開閉するゲートに改良します。
		9	平成 25 年 4 月の大雨時、市道東中原 19 号線において、車両が水没しそうな道路冠水が発生したので早急に対応をしてほしい。	〔基本計画に反映〕 重点対策地区(短期)の中原・東中原地区に含め浸水被害の軽減を図ります。

地区	素案の該当項目	番号	素案に対する意見	市の考え
須賀	5.重点対策地区 (短期・中期)		平成10年代から急速に農地から宅地化が進み、雨水の地下浸透が減少し、現在の雨水管渠では排水処理が困難になっている。そのため、新田2号線は冠水し、車両が通行できないこともある。	
		10	(1)新田2号線及び4号線の雨水管渠整備には、5年もかかると聞いているが、1年でも短くしてほしい。	この路線には地下埋設物が多くあるため、移設工事から完成までには5箇年を要しますが、できるだけ早期の完成を目指します。
		11	(2)須賀地区の雨水は茅ヶ崎市からの流入があり、再び茅ヶ崎市に流れでている。雨水管渠の拡大と同時に下流域のポンプの増設もお願いしたい。	整備をする雨水管渠の下流域にある茅ヶ崎市の今宿ポンプ場は、平成27年度～平成28年度にポンプ増設工事の予定です。
	その他	12	(3)平塚市総合浸水対策基本計画(素案)に賛成である。須賀地区においてはすでに事前準備の工事が始まっているが、騒音や振動による被害がないよう工事を進めてほしい。また、住民との意思疎通を図って工事を進めて欲しい。	騒音や振動が少しでも小さくなるように工事方法を工夫していきます。また、住民とコミュニケーションをとり情報提供に努めながら、対策を進めます。

地区	素案の該当項目	番号	素案に対する意見	市の考え
市内全域	その他	13	<p>ゲリラ豪雨については、地球温暖化の影響があるのだろうか。</p> <p>(1) ゴミ削減として庭の草や植木の刈取ゴミは難燃物であるので、自宅の庭に埋める。どうしてもゴミとして出すならば2週間以上乾燥させてから出してはどうか。またそれを広報ひらつかなどで周知してはどうか。</p>	<p>草や植木の刈取りゴミについては、できるだけ乾燥させてから排出していただくことが好ましいと考えております。なお、自宅の庭に埋める処理につきましては、廃棄物の適正処理の観点から腐葉土としての活用の範囲内をお願いしています。</p>
		14	<p>(2) 川の土手をきれいに草を刈ってしまうと土手の強度が心配である。また、公園等で落葉等を清掃すると、植物にとって唯一の肥料である落葉を取ると栄養不良となり台風が来た時、枝や葉を数多く落すことになりかねない。草刈りや落葉掃除ではなく土手の強化には竹を植えたらどうか。通常の木より弾力性があるので(幹と根)風雨によって土手を壊すことは考えにくい。</p>	<p>管理者である神奈川県へ情報提供させていただきました。</p>
		15	<p>金目川等の川底拡大の作業に一般や学生のボランティアを募ってはどうか。(安全管理は問われるが。)</p>	
		16	<p>津波対策として海岸に松ではなく檜の木を植えてはどうか。(松は根が浅い)ただし既に松が育っている場合はこの限りではない。海岸浸食も怖いですがこれについては遺伝子工学で耐寒性のマングローブを接ぎ木して植える。また、海の底には、三重県松阪市の海にはえている海藻を植えてみてはどうか。これにより少しでも海流の力を弱めるのではないか。</p>	